



ほっこり・にっこり

校長通信 No.1

天理市立前栽小学校
令和6年5月29日
文責 校長 阪本 真紀子

なかなか出たくて出せなかった校長通信を発行いたします。不定期にぼちぼち出させていただきます。この校長通信は、学級に1枚プリントで子どもたちに、すぐーるでお家の方や地域の学校関係者に、ホームページでより多くの方々に発信していきたいと思ひます。

先日、夜のジョギング中に「〇っ〇り」の〇に何か入れてみると結構いろいろな言葉が作れるなあ、とふと思いつき、考えながら走っていると、あっという間に家に着きました。そのバラエティーの豊かさが面白く、つい笑ってしまいました。「まったり」「むっつり」「がっかり」「しっくり」「はっきり」「ごっそり」「ちゃっかり」「きっちり」「ぼっかり」「ゆっくり」「さっぱり」と、きりがありませんが、私的には、「ほっこり」とか「にっこり」がなんかいいなあと思ひまして、通信のタイトルを「ほっこり・にっこり」としました。心がほっこりするような温かい出来事、つついににっこりしてしまうような愛おしい出来事が日常には散らばっています。前栽小学校は、人数の多い学校です。また、著しい社会の変化の中で、学校に求められるものも多く、それに応えていく責務もあります。時には、固い話題もあるかとは思ひますが、「ほっこり・にっこり」を忘れずにいたいと思ひます。

栽培ボランティアさんと種まき(3年生 理科)

3年生が、栽培ボランティアさんと一緒に種まきをしました。土をポットに入れ、マリーゴールドまたはハウセンカの種をまきました。「土はこのくらい?」「もうちょっと入れようか。」「どっちの種植えるかな?」「マリーゴールドください。」「3つね。」などお話ししながら、スムーズに進みました。少し時間に余裕があったので、後半は、逆にボランティアさんのお手伝いを3年生が張り切っていました。ほっこりです。数日後、かわいい芽が出てきました。楽しみですね。大切に育てましよう。



民生児童委員さんをゲストティーチャーにお迎えして(6年生 社会科)

民生児童委員の皆さんが、6年生の社会科の授業にゲストティーチャーとして来てくださいました。前栽小学校区には23名の民生児童委員さんがいらっしゃいます。国の厚生労働大臣からの依頼を受け、無償で活動されています。それぞれ担当の地区があり、個人情報を守りつつ住民の相談にのったり、子どもや高齢者の見守りをしたりしています。授業の後、民生児童委員の皆さんは、「熱心に聞いてくれてうれしかったです。」とおっしゃっていました。子どもたちの感想には、「一人暮らしをしているおじいちゃんのところにも行ってほしいです。」「無償でみんなのために働いていてかっこいいです。」「あいさつ運動にも来てくださっているの、今度からは心を込めてあいさつしたいです。」などがありました。にっこりです。ありがとうございました。

